

**ラジオ放送聴取等の実態に関する
調査研究報告書
＜概要＞**

**令和6年3月
総務省地上放送課**

ラジオ放送聴取等の実態に関する調査研究

調査概要

※調査は株式会社時事通信社が総務省の請負事業（調査期間：令和5年11月～令和6年3月）として実施。

ラジオ放送について、地形的・地理的要因、外国波混信、電子機器の普及や建物の堅牢化等により、難聴が増加していることから、FM補完中継局の制度整備を行い、受信環境の改善等を図っているところである。AM放送からFM放送への転換等が行われる場合、FM補完放送（ワイドFM）対応の受信機の普及が課題となっている。そこで、ワイドFMの聴取実態等について調査・分析を行うことにより、今後のワイドFMへの対応策及び普及方策に関する検討を目的とする。

調査対象	調査方法
① 住民	インターネット調査
○各都道府県の10代（15歳以上）～70代男女を、各年代15名ずつ抽出。（1都道府県当たり210名） ○住民基本台帳の全国の人口分布（2022年）に合わせ、 都道府県×年代×性別を用いたウエイトバック集計を実施。（N=103,406）	
② 業界団体・メーカー	質問紙調査
○主要なラジオ製造メーカー及び国内自動車メーカーに対し、 ワイドFMに対応した受信機の普及状況調査を実施。	

調査内容	
① ラジオ聴取者の傾向（プロフィール）	○生活意識/趣味・趣向/日頃行っていること
② ラジオ放送の聴取実態	○AM・FM・インターネットラジオの聴取目的/聴取状況/認知度
③ FM補完放送（ワイドFM）の聴取実態	○認知度/理解度/聴取状況/受信機の普及状況/ 家庭用ラジオ・カーラジオの普及率
④ ラジオ放送に関する普及方策の検討	○AM停波時の影響

住民への調査 ①ラジオ聴取者の傾向

聴取者の定義

※全体 N=103,406

分類	定義	数(全体に対する割合)
○ ラジオ放送接触者	頻度を問わず、ラジオを聴いている者 ※聴取媒体問わず	49,879(48.2%)
○ ラジオ聴取者	月に1日以上、ラジオを聴いている者 ※聴取媒体問わず	36,812(35.6%)
○ AMリスナー	月に1日以上、AMラジオを聴いている者 ※聴取媒体問わず	28,256(27.3%)
○ FMリスナー	月に1日以上、FMラジオを聴いている者 ※聴取媒体問わず	27,901(27.0%)
○ ネットリスナー	月に1日以上、インターネットラジオを聴いている者 ※ダウンロードpodcastを含む	19,004(18.4%)
○ ワイドFMリスナー	月に1日以上、ワイドFMを聴いている者	12,412(12.0%)
○ AMのみリスナー	[AMリスナー]または[ワイドFMリスナー]であるが [FMリスナー]ではない者	8,833(8.5%)

住民への調査 ①ラジオ聴取者の傾向

聴取者タイプ別の傾向

※全体 N=103,406

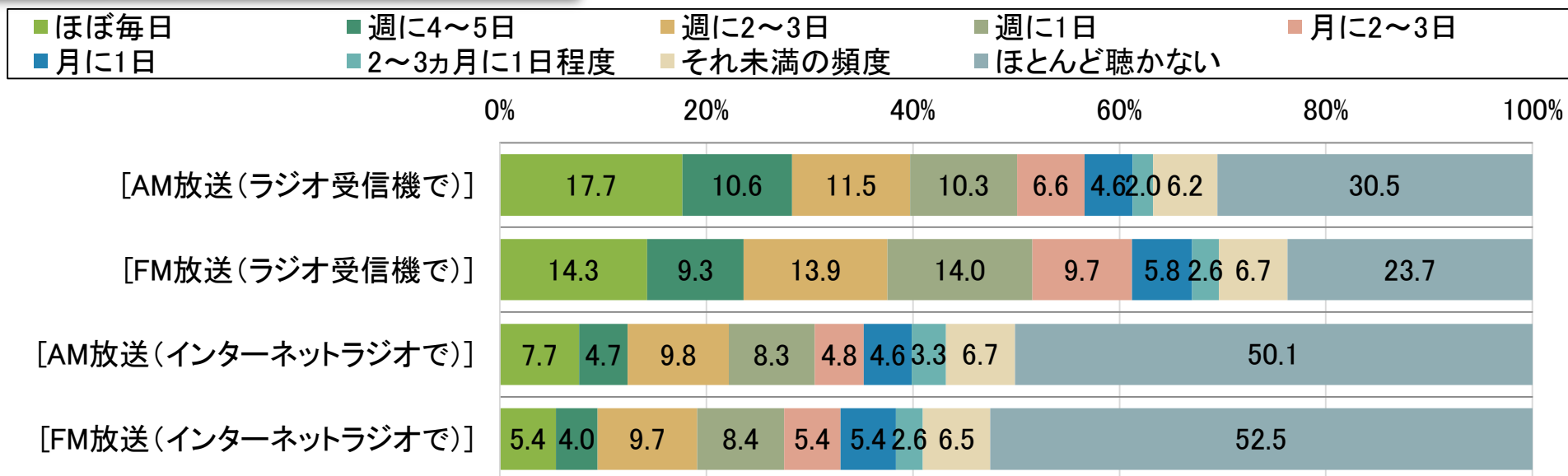
- ✓ ラジオ聴取者は調査対象全体の35.6%。年齢層は、男性が40代～70代、女性が70代と比較的高く、ラジオ聴取者の半数を占める。インターネットラジオに限れば、学生の比率が高い。
- ✓ 聴取機器は、カーオーディオ、スマートフォン、据え置き型ラジオの順に利用されており、自動車乗車中の聴取が多い。
- ✓ 聴取時間帯は、分散傾向にあるが、インターネットラジオは夜間の聴取が多い。
- ✓ 聴取頻度は、AM放送が最も高く、習慣化している層が多い。
インターネットラジオは、習慣化している層が比較的少ない。
- ✓ 全体的に趣味に積極的で、国内旅行、散歩・ウォーキングなどアクティブな生活を送っている人が多い。

分類	ラジオ聴取者	AMリスナー	FMリスナー	ネットリスナー
比率	35.6%	27.3%	27.0%	18.4%
性別・年代	男性＞女性 高齢層＞若年層	男性70代＞男性60代 ＞女性70代	AMリスナーに比べ 年代間の差が小さい	男性20代＞男性40代 ＞男性50代
職業	会社員(事務系)・専業主婦(主夫)・その他			学生の比率が比較的大きい
聴取機器	カーオーディオ・カーナビ＞スマートフォン＞据え置き型ラジオ			スマートフォン(アプリ)＞カーオーディオ・ カーナビ＞スマートフォン(ラジオ機能)
聴取場所 時間・目的	場所:自宅と移動時(自動車、通勤) 時間:朝から夜までコンスタントに聴かれている 目的:BGM聴取			場所:自宅と移動時(自動車、通勤) 時間:夜、深夜の聴取が多い 目的:情報収集・好きな番組を聴く
趣味	自動車・国内旅行・音楽鑑賞・散歩・ウォーキング			アウトドア・音楽鑑賞・音楽フェス

住民への調査 ②ラジオ放送の聴取実態

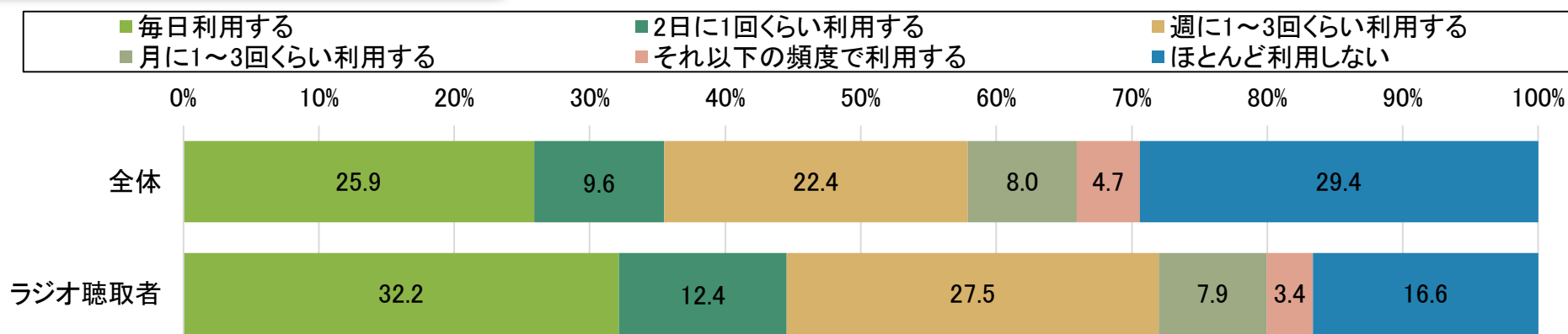
ラジオ聴取者の媒体別ラジオ接触頻度

(ラジオ聴取者 N= 36,812)



ラジオ聴取者の自動車利用状況

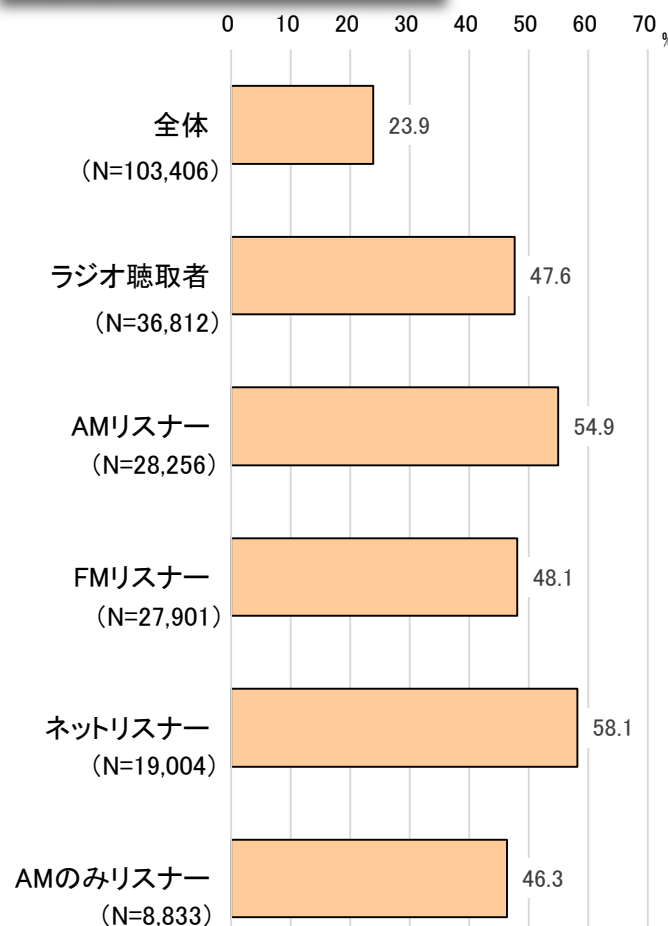
(ラジオ聴取者 N=36,812)



住民への調査 ③FM補完放送（ワイドFM）の聴取実態-1

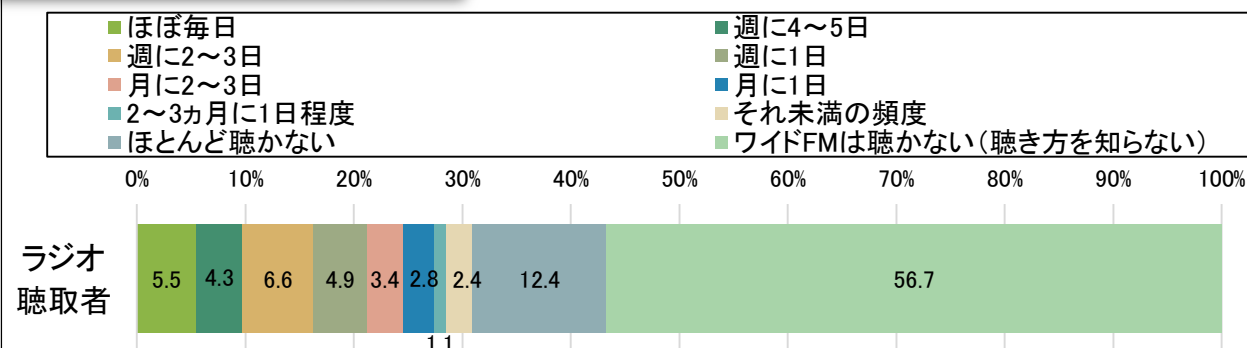
- ✓ ワイドFMの認知度は全体の23.9%。ラジオ聴取者の中では47.6%。
- ✓ 月1日以上ワイドFM聴取者はラジオ聴取者の27.4%、週に1回以上の聴取者は21.3%と、AM/FM放送やインターネットラジオといった他の媒体の聴取頻度を下回る結果となっている。
- ✓ 聴取した印象としては、「音質がいい」「雑音が少ない」といった、音質に関わる点が認識されている。

ワイドFMの認知度



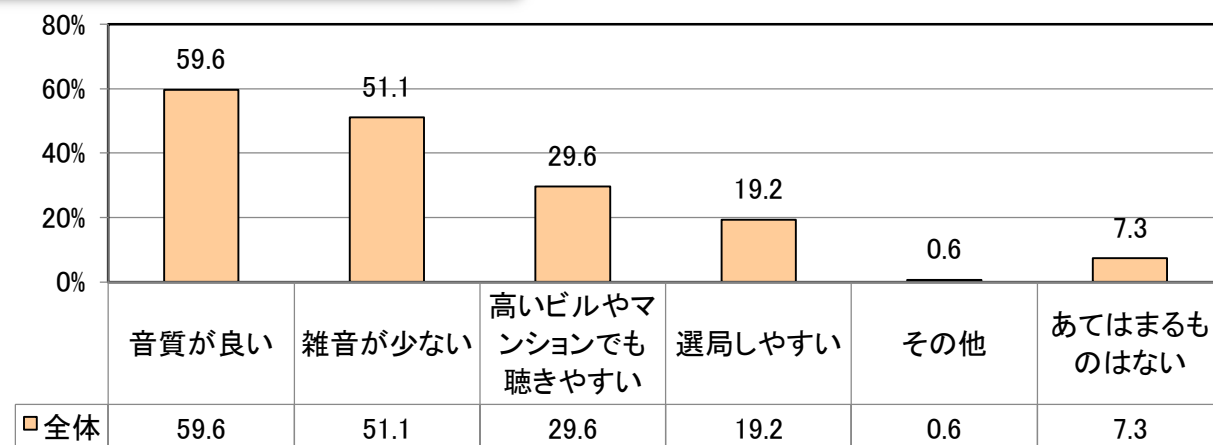
ワイドFMの聴取頻度

(ラジオ聴取者 N= 36,812)



ワイドFMを聴取した印象

(ワイドFM聴取者 N=12,142)



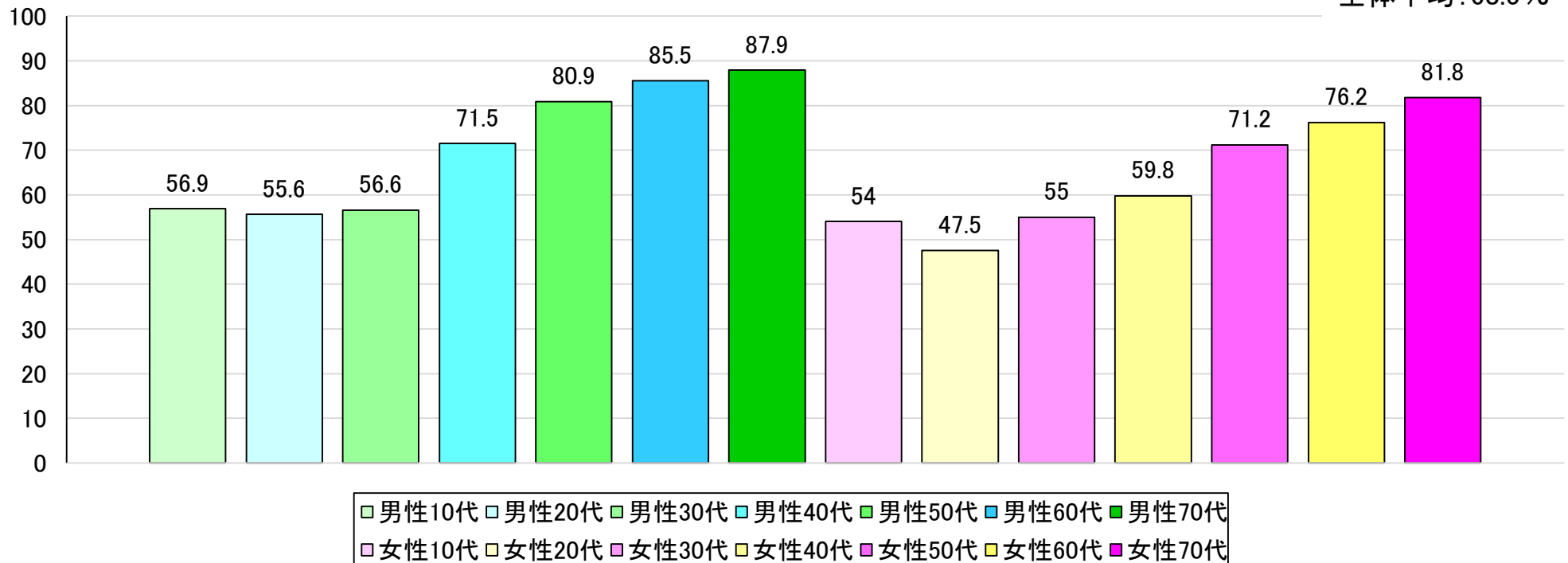
住民への調査 ③FM補完放送（ワイドFM）の聴取実態-2

ラジオ受信機保有率

- ✓ ラジオ聴取機器の保有者は全体で68.5%で、ラジオ聴取者のうち、41%がワイドFM対応機器を所有している。男性の10代から40代は全体よりも保有率が高くなっている。
- ✓ 他方、男性50代～60代や女性の多くの年代では、保有率が全体を下回っている。
- ✓ ワイドFM認知者では、全体の過半数が対応機器を保有している。
- ✓ 保有している機器がワイドFMに対応しているか「わからない」という層も一定程度存在するため、ワイドFM対応機器保有率が実際にはこの数値を上回っている可能性もある。

全体でのラジオ聴取機器保有率（電波受信）

全体：N= 103,406
全体平均：68.5%



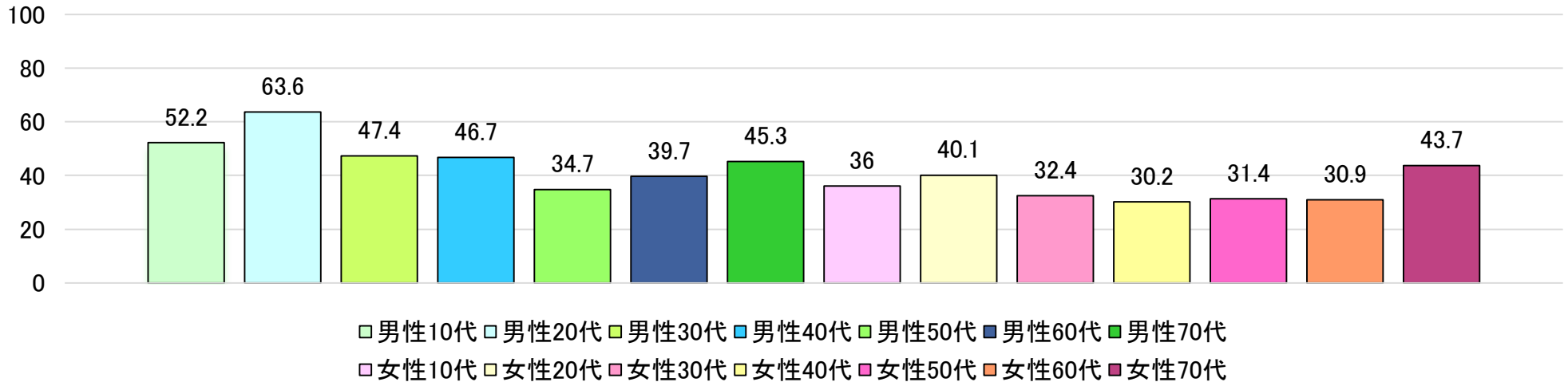
※ラジオ聴取機器保有率（電波受信）にインターネットから聴取するものは含まない。

住民への調査 ③FM補完放送（ワイドFM）の聴取実態-3

ワイドFM対応機器保有率(性年代別)

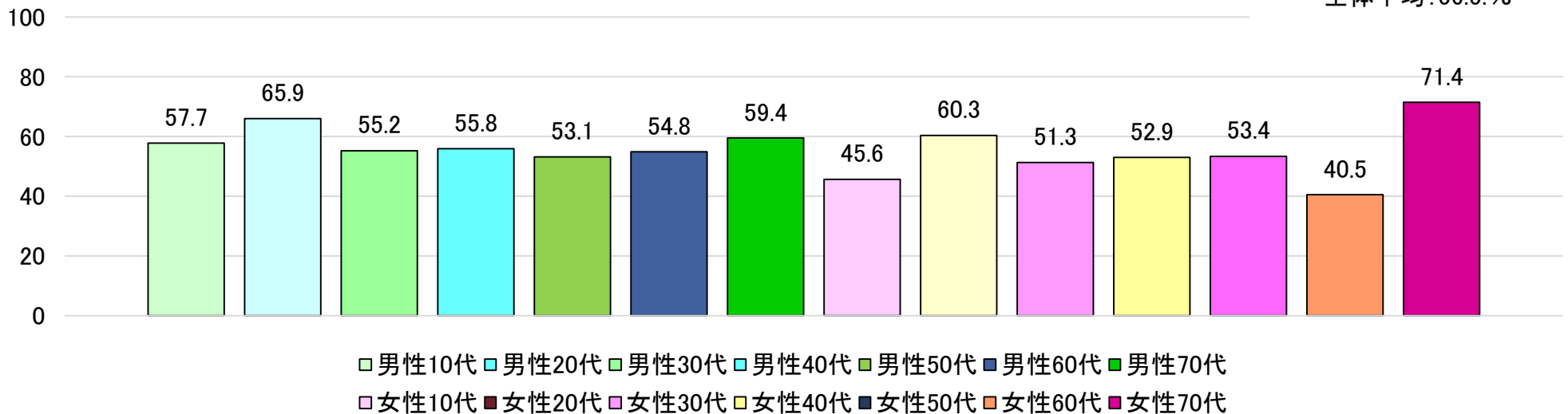
ラジオ聴取者数に対するワイドFM対応機器保有率

ラジオ聴取者：N= 36,812
全体平均：41.0%



ワイドFM認知者数に対するワイドFM対応機器保有率

ワイドFM認知者：N= 24,675
全体平均：56.5%

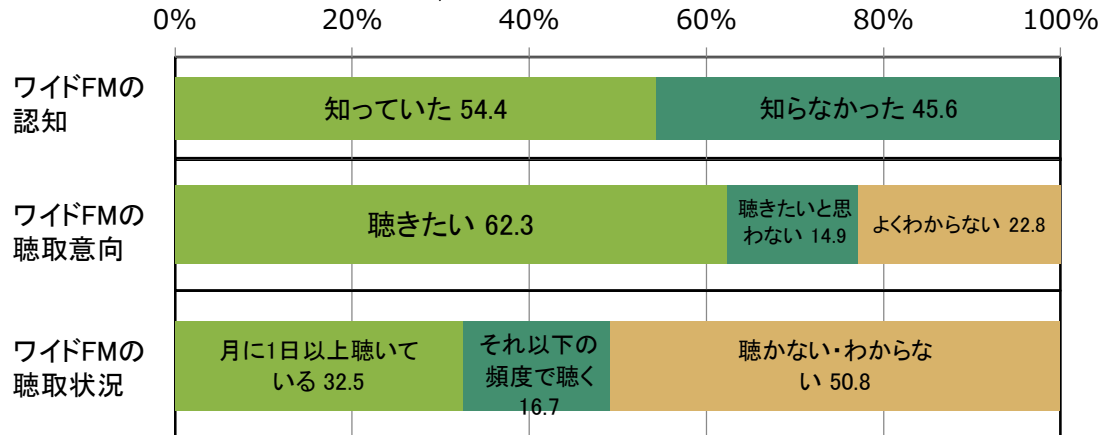


住民への調査 ④ラジオ放送に関する普及方策の検討（ワイドFMの認知度）

- ✓ AMラジオ放送聴取者の1/2は既にワイドFMの利用経験がある。
- ✓ 一方で、AMラジオ放送聴取者の中でも、ワイドFMについて「聴かない・わからない」という層が過半数存在し、その約7割を男女50代～70代が占めている。

ワイドFMの認知

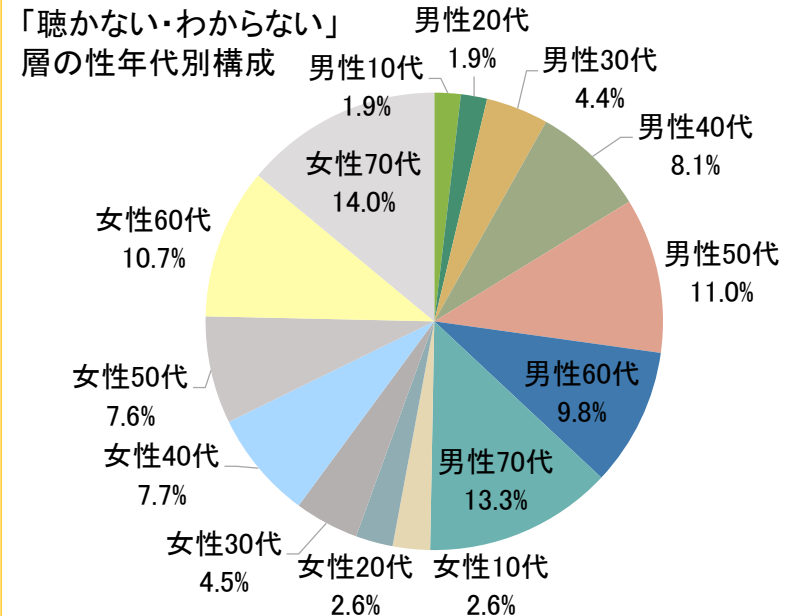
全回答者 N=103,406	100.0%
ラジオ聴取者 N=36,812	35.6%
AMラジオ放送聴取者 N=26,920	26.0%
ラジオ受信機、インターネットラジオ、ダウンロードのいずれかで月1日以上聴取	



ワイドFMの聴取状況

（「聴かない・わからない」層の聴取者 N=13,686）

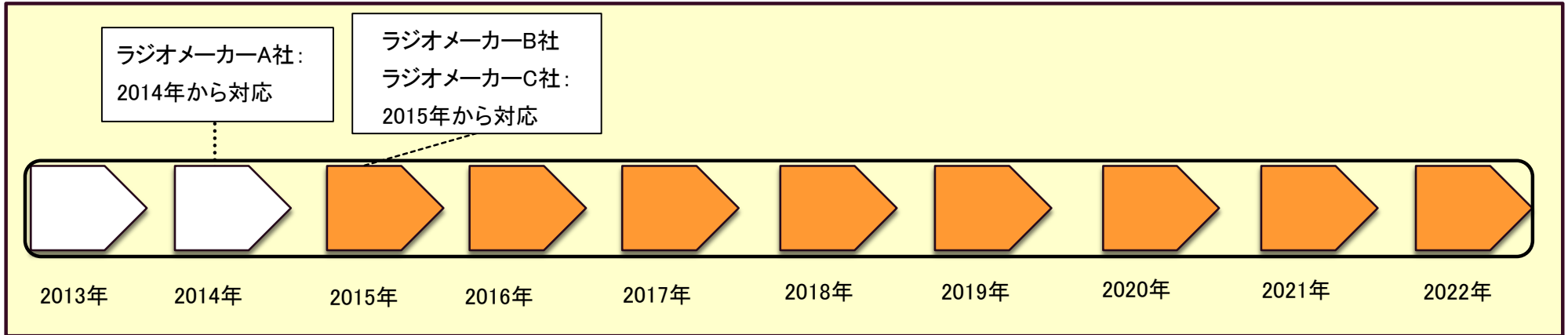
ワイドFM定期聴取者	不定期聴取者	聴かない・わからない
32.5%	16.6%	50.8%



業界団体・メーカーへの調査

ワイドFM対応状況

- ✓ 国内ラジオメーカーでは、2015年以後に生産しているラジオ受信機について、基本的にはワイドFM対応となっている。



- ✓ 国内自動車メーカーのカーオーディオについて、乗用車は2018年以後の生産では基本的にはワイドFM対応となっている。

